

貫衆

〔兼好法師集〕ほりかはのおほいまうちきみ源をいはくらの山莊におさめたてまつりにし又の春そのわたりのわらびをとりて、雨ふる日申つかはし侍し、

さわらびのもゆる山邊を來てみればきえしけふりの跡ぞかなしき

〔本草和名〕貫衆仁諧音古亂反一名貫節、一名貫渠、一名百頭、一名虎卷、一名扁荷仁諧音捕典反一名伯濟楊音薄

一名藥藻仁諧音藥一名草鴉頭陶景注云形似老鴉頭故以名之一名貫來、一名貫中、一名渠母、一名貫鐘、一名樂、一名黃

鐘已上六名出釋藥性一名頭實出兼名苑一名貫草出雜要決和名於爾和良比。

〔倭名類聚抄〕貫衆 本草云、貫衆和名於爾和良非

〔康頼本草採藥時節〕貫衆 味苦微寒有毒 和、和良比、又云於仁和良比、二月八月採根暴乾、

〔倭訓栞後編十八〕おにわらび 枕草紙に見ゆ、倭名抄に貫衆を訓せり、今熊わらびともいへり、新撰字鏡に、殷孽をおにわらび、土殷孽をほしわらびによめるは、似たるをもて呼るなるべし、殷孽

は鐘乳の根、土殷孽は土中に凝たる者也、

〔藥經太素下〕貫衆 微寒味苦

白水ニ浸シテ剉焙能散熱主除寸白殺三蟲破癥仍治金瘡痛細末湯調止鼻洪、

〔枕草子八〕名おそろしき物をにわらび

〔重修本草綱目啓蒙十二〕地蜈蚣草

名ニヨリテムカデグサニ充ツル説ハ穩ナラズ、ムカデグサハ貫衆ノ一種ナリ、地蜈蚣草ハ紀州

熊野山中ニ生ジ、土人ムカデラント呼ブモノコレニ近シ、ソノ草ハ樹皮ニ繁鋪シテ螺曆草ノ樹

石ニ附著スルガ如シ、藤ハ螺曆草ヨリ粗シ、葉ハ佛甲草葉ノ如クニシテ狭小、質厚クシテ微シ彎

リ互生ス、葉ハ深綠色、二葉ゴトニ一根ヲ生ジテ樹皮ニ粘ス、花實ハ蘭ニ類シテ極メテ小シ、此草

ムカデグサ

名ニヨリテムカデグサニ充ツル説ハ穩ナラズ、ムカデグサハ貫衆ノ一種ナリ、地蜈蚣草ハ紀州熊野山中ニ生ジ、土人ムカデラント呼ブモノコレニ近シ、ソノ草ハ樹皮ニ繁鋪シテ螺曆草ノ樹石ニ附著スルガ如シ、藤ハ螺曆草ヨリ粗シ、葉ハ佛甲草葉ノ如クニシテ狭小、質厚クシテ微シ彎リ互生ス、葉ハ深綠色、二葉ゴトニ一根ヲ生ジテ樹皮ニ粘ス、花實ハ蘭ニ類シテ極メテ小シ、此草